

**製品名: MAP2K6 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80949**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	38kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAP2K6
別名	MEK6; MKK6; MAPKK6; PRKMK6; SAPKK3; MAP2K6
遺伝子 ID	5608.0
SwissProt ID	P52564
免疫原	大腸菌で発現したヒト MAP2K6 の精製された組み換え断片。

**背景**

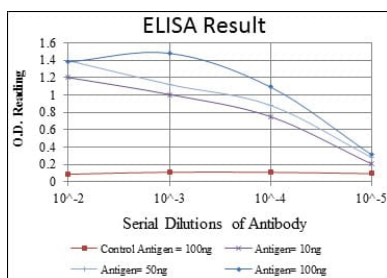
この遺伝子は、二重特異性タンパク質キナーゼファミリーのメンバーをコードし、マイトジェン活性化タンパク質（MAP）キナーゼキナーゼとして機能します。MAPキナーゼは細胞外シグナル調節キナーゼ（ERK）としても知られ、複数の生化学的シグナルの統合

点として機能します。このタンパク質は、炎症性サイトカインまたは環境ストレスに反応して p38 MAP キナーゼをリン酸化して活性化します。p38 MAP キナーゼを介したシグナル伝達経路の必須構成要素として、この遺伝子はストレス誘発性の細胞周期停止、転写活性化、アポトーシスなど、多くの細胞プロセスに関与しています。組織特異性: アイソフォーム 2 は骨格筋でのみ発現します。一方、アイソフォーム 1 は骨格筋、心臓、そして少量ですが肝臓や膵臓にも存在します。

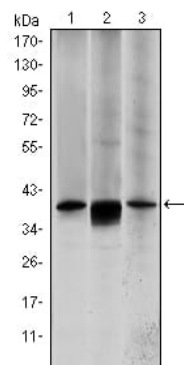
## 研究分野

アポトーシス、TGF- $\beta$ シグナル伝達経路、MAPKシグナル伝達経路、Jak-STATシグナル伝達経路

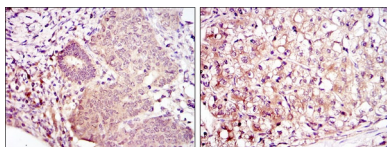
## 画像データ



赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



HepG2 (1)、MCF-7 (2)、NIH/3T3 (3) 細胞溶解物に対する MAP2K6 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



DAB 染色による MAP2K6 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト卵巣癌 (左) および腎臓癌 (右) の免疫組織化学分析。